

2026年3月期 第3四半期

9 M FY2025

# 決算概要



2026年2月10日

日揮ホールディングス株式会社

本資料の複製・転載・改変・再配布を禁止します。

# 目次

- 2026年3月期 第3四半期 実績
- 2026年3月期 予想
- 参考資料



# 2026年3月期第3四半期 実績



# ハイライト

---

- ・ 国内外大型プロジェクトの着実な遂行を継続
- ・ 複数の海外大型プロジェクトが完工するなど順調に進捗
- ・ 機能材製造事業では市場環境が期初想定から若干改善
- ・ これまでの業績動向を踏まえ、通期業績予想を修正

# 連結損益計算書

【億円】

	9M FY2024 実績	9M FY2025 実績	前年同期比	FY2025 業績予想 (修正後)	進捗率
売上高	6,041	5,668	△ 373	7,400	77%
売上総利益	31	476	+445	610	78%
利益率	0.5%	8.4%	+7.9pt	8.2%	
営業利益・営業損失(△)	△ 192	267	+459	310	86%
経常利益	1	426	+425	440	97%
親会社株主に帰属する 四半期純利益・純損失(△)	△ 39	299	+338	300	100%
1株当たり 四半期純利益・純損失(△)	△16.43円	123.70円			

# セグメント情報

【億円】

		9M FY2024 実績	9M FY2025 実績	前年同期比		FY2025業績予想 (修正後)	進捗率
総合エンジニアリング	売上高	5,613	<b>5,207</b>	△ 406	△ 7%	<b>6,750</b>	77%
	セグメント利益・損失	△ 198	<b>261</b>	+460	-	<b>295</b>	89%
	利益率	△ 3.5%	<b>5.0%</b>	+8.5pt		<b>4.4%</b>	
機能材製造	売上高	397	<b>427</b>	+29	+7%	<b>570</b>	75%
	セグメント利益	58	<b>57</b>	△ 0	△ 1%	<b>75</b>	77%
	利益率	14.7%	<b>13.6%</b>	△ 1.1pt		<b>13.2%</b>	
その他	売上高	29	<b>33</b>	+3	+13%	<b>80</b>	42%
	セグメント利益	7	<b>7</b>	+0	-	<b>20</b>	40%
	利益率	26.6%	<b>23.6%</b>	△ 3.0pt		<b>25.0%</b>	
調整額	セグメント利益	△ 59	<b>△ 60</b>	△ 0	-	<b>△ 80</b>	-

# セグメント情報

---

## マーケット環境

### ・総合エンジニアリング事業

- ・ 天然ガス（LNG含む）関連を中心に顧客の設備投資計画は多数進行中。今期EPC受注期待案件では、顧客内各種手続きが長期化傾向。
- ・ サステナブル分野の顧客投資計画は後倒し。オフテーカー確保や事業経済性などが課題。

### ・機能材製造事業

- ・ 海外での燃料需要と国内での交換需要を背景に石油精製触媒は堅調。
- ・ ファインケミカル分野は、生成AI普及に伴うハードディスク市場回復によりシリカゾル（研磨砥粒素材）の販売が好調。
- ・ ファインセラミックス分野では、半導体製造装置部品やデータセンター向け薄膜回路基板の需要が急速に回復。中国市場向けEV用高熱伝導窒化ケイ素基板の需要も堅調。

# セグメント情報

## 受注の状況（総合エンジニアリング事業）

### i ) 受注高

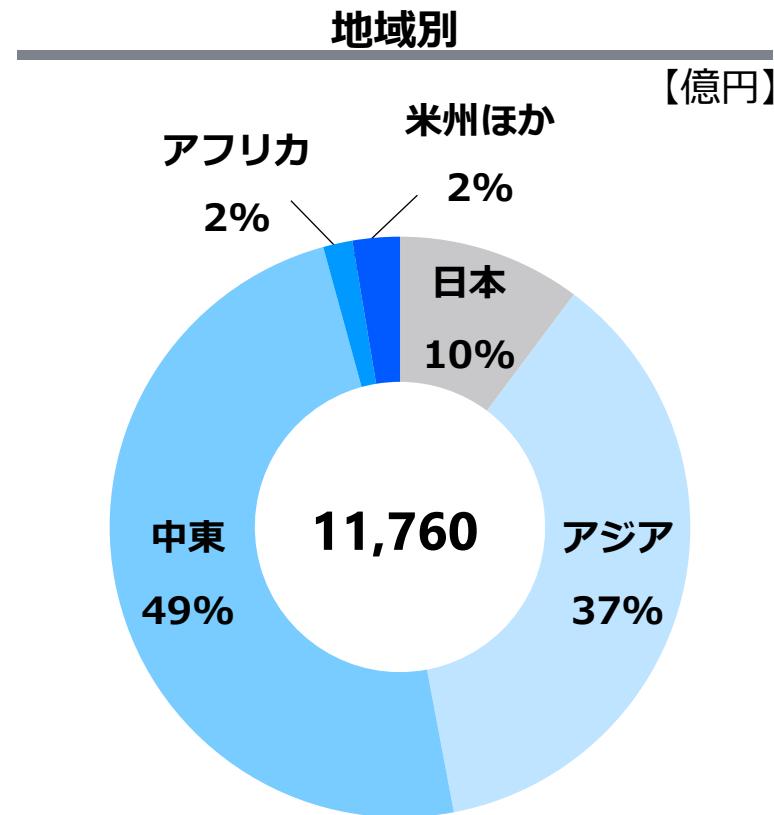
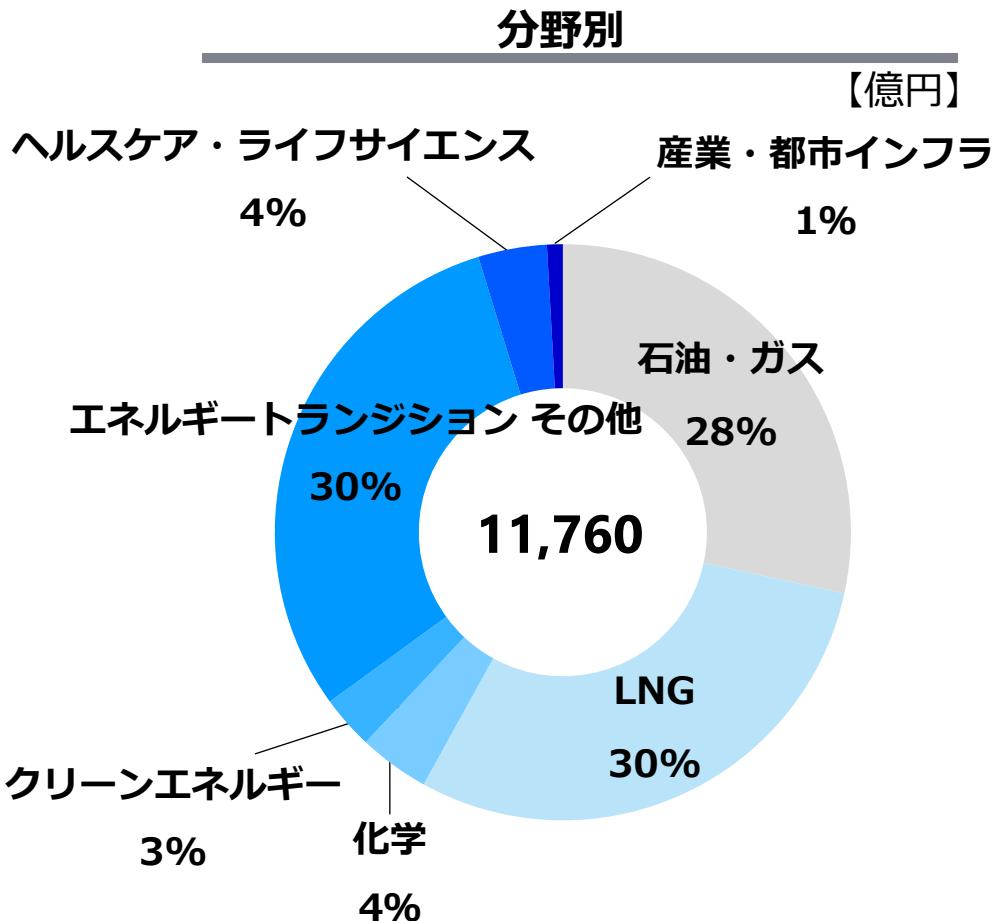
	【億円】	
	9M FY2024	9M FY2025
海外	3,599	<b>2,111</b>
国内	565	<b>896</b>
合計	4,165	<b>3,008</b>

9M FY2025  
主要受注案件

LNG FEED（カナダ）  
FLNG 先行役務（モザンビーク）  
口ケット試験・燃料設備（日本）  
医薬品製造工場改修（日本）  
原油・ガス分離設備増設工事（サウジアラビア）  
化学プラント改修工事（日本）

# セグメント情報

## ii) 受注残高（2025年12月末）



受注残高 主要案件	1,000億円以上	500億円以上	300億円以上
	大型EGR/CCUS陸上設備（インドネシア） 大型低炭素LNGプラント（UAE） 原油・ガス分離設備増設工事（サウジアラビア）	原油・ガス分離設備（サウジアラビア） 製油所近代化（イラク）	ニアショアFLNGプラント（マレーシア） NGLプラント増強工事（サウジアラビア）

# 連結財政状態

【億円】

	2025年3月末	2025年12月末	増減
<b>流動資産</b>	5,612	<b>5,865</b>	+252
<b>固定資産</b>	2,229	<b>2,444</b>	+215
<b>総資産</b>	7,841	<b>8,309</b>	+468
<b>流動負債</b>	3,469	<b>3,492</b>	+22
<b>固定負債</b>	449	<b>512</b>	+62
<b>純資産</b>	3,922	<b>4,305</b>	+382
<b>自己資本比率</b>	49.8%	<b>51.6%</b>	+1.8pt
JVキャッシュ 当社持分	935	<b>1,160</b>	+225

# 2026年3月期 予想



# 2026年3月期の業績見通し

【億円】

	FY2024 実績	FY2025 予想 修正前	FY2025 予想 修正後	FY2025 予想増減
受注高(※)	9,225	6,500	<b>6,500</b>	-
売上高	8,580	7,700	<b>7,400</b>	△ 300 △ 4%
売上総利益	189	590	<b>610</b>	+20 +3%
利益率	2.2%	7.7%	<b>8.2%</b>	+0.5pt
営業利益・損失(△)	△ 114	280	<b>310</b>	+30 +11%
経常利益	113	380	<b>440</b>	+60 +16%
親会社株主に帰属する当期純利益・純損失(△)	△ 3	280	<b>300</b>	+20 +7%
1株当たり配当金	40.00円	40.00円	<b>40.00円</b>	-
換算レート(米ドル)	149.52円	145.00円	<b>150.00円</b>	+5円

(※) 総合エンジニアリング事業

# 2026年3月期 セグメント別 業績見通し

【億円】

	FY2024 実績	FY2025 予想 修正前	FY2025 予想 修正後	FY2025 予想増減
総合エンジニアリング	売上高	7,949	7,080	<b>6,750</b> △ 330 △ 5%
	セグメント利益・損失(△)	△ 145	270	<b>295</b> +25 +9%
	利益率	△ 1.8%	3.8%	<b>4.4%</b> +0.6pt -
機能材製造	売上高	546	540	<b>570</b> +30 +6%
	セグメント利益	81	70	<b>75</b> +5 +7%
	利益率	15.0%	13.0%	<b>13.2%</b> +0.2pt -
その他	売上高	84	80	<b>80</b> - -
	セグメント利益	24	20	<b>20</b> - -
	利益率	28.4%	25.0%	<b>25.0%</b> - -
調整額	セグメント利益	△ 74	△ 80	<b>△ 80</b> - -

# 參考資料

# 参考（地域別受注高、売上高、受注残高）

【億円】

	9M FY2025 受注高		9M FY2025 売上高		9M FY2025 受注残高	
日本	1,253	35.6%	1,320	23.3%	1,322	11.1%
	(896)	(29.8%)	(1,012)	(19.4%)	(1,202)	(10.2%)
アジア	395	11.2%	1,027	18.1%	4,342	36.5%
	(319)	(10.6%)	(957)	(18.4%)	(4,327)	(36.8%)
中東	1,090	30.9%	1,745	30.8%	5,727	48.2%
	(1,062)	(35.3%)	(1,718)	(33.0%)	(5,727)	(48.7%)
アフリカ	602	17.1%	446	7.9%	192	1.6%
	(602)	(20.1%)	(446)	(8.6%)	(192)	(1.6%)
米州ほか	181	5.2%	1,128	19.9%	312	2.6%
	(126)	(4.2%)	(1,072)	(20.6%)	(309)	(2.7%)
合計	3,525	100.0%	5,668	100.0%	11,896	100.0%
	(3,008)	(100.0%)	(5,207)	(100.0%)	(11,760)	(100.0%)

※ 括弧内は総合エンジニアリング事業のみの数字を表しています。

# 参考（3Qまでの主な取り組み - 総合エンジニアリング事業）

受注目標（6,500億円）達成に向けて引き続き注力。

将来の成長期待分野へも積極的に展開

## 海外

- トランジションエナジー関連分野において、モザンビーク向けFLNGプラントの先行契約、カナダ向けLNGプラントのFEEDアップデート役務、インドネシア向けLNG・FPSO※プラントのFEED役務、サウジアラビア向け原油・分離ガス設備増設工事などを受注。  
※洋上生産出荷施設（FPSO : Floating Production Storage and Offloading）
- LNG カナダプロジェクトで全ての工事エリアの引き渡しを2025年12月に達成。タイ・化学プラントも顧客への引き渡しを完了。
- 成長市場である先端技術産業分野において、Exyte社と協業し、東南アジア地域の先端技術産業分野に特化した共同EPCブランド「Nixyte」として積極的な営業活動を展開。

## 国内

- 民間口ケット試験・燃料設備の新設工事、化学プラントの改修工事、医薬品製造工場の改修工事などを受注したほか、その他分野のFEED役務やメンテナンス業務などを受注。
- ライフサイエンス、食品関連、製油所改修案件などの受注を目指し、引き続き営業活動に注力。
- 系統用蓄電池設備設置工事（兵庫）などを完工。

## ＜低・脱炭素化や循環型社会の実現に向けた取り組み＞

- フュージョン（核融合）エネルギー発電の商業化を目指す米国コモンウェルス・フュージョン・システムズ社に出資。
- リチウム精錬技術を持つMetso社（フィンランド）、CO2バッテリー技術を持つエナジードーム社（イタリア）、燃焼後排ガスのCO2回収技術を持つSLBグループと、それぞれ技術協力し営業活動を推進中。
- 博多駅で当社独自開発の施工法を用いたペロブスカイト太陽電池の発電実証実験を実施。

# 参考（3Qまでの主な取り組み – 機能材製造事業）

## 触媒・ファインケミカル分野

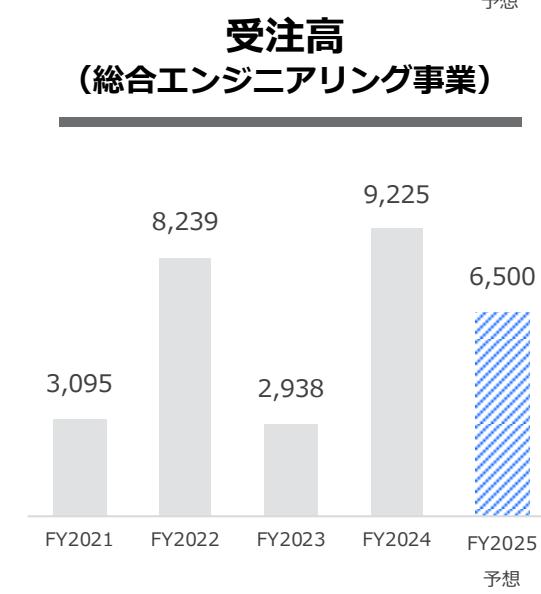
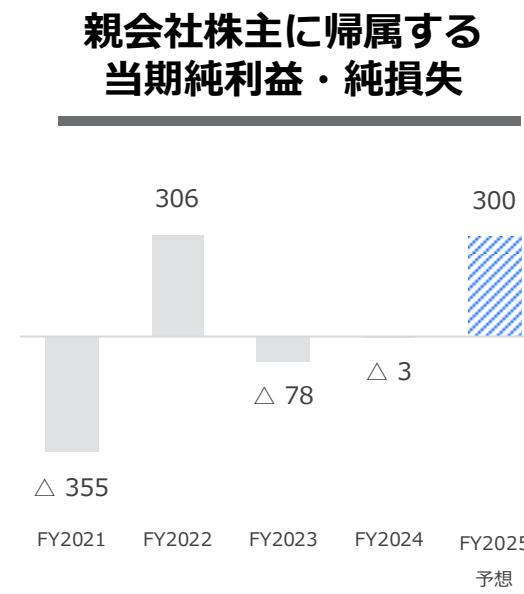
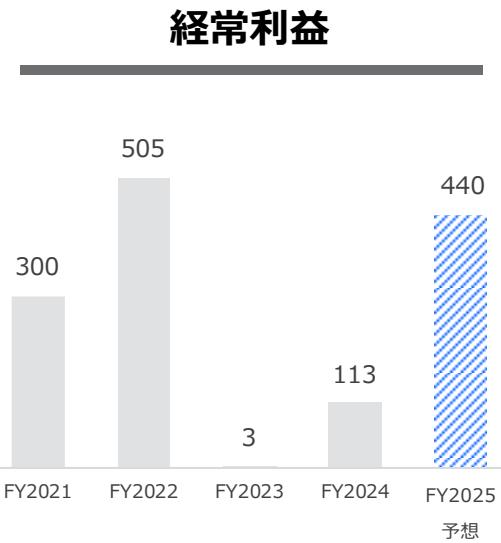
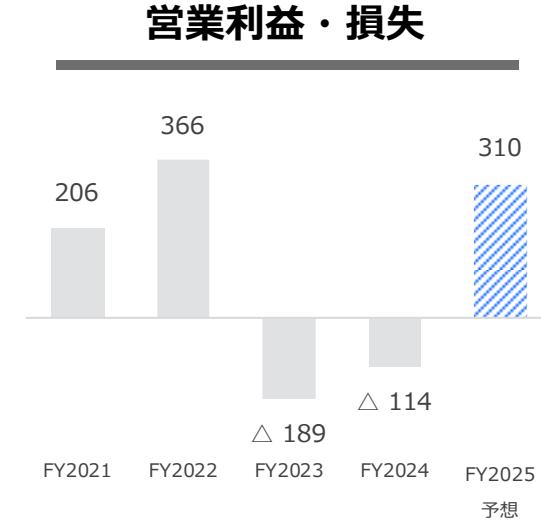
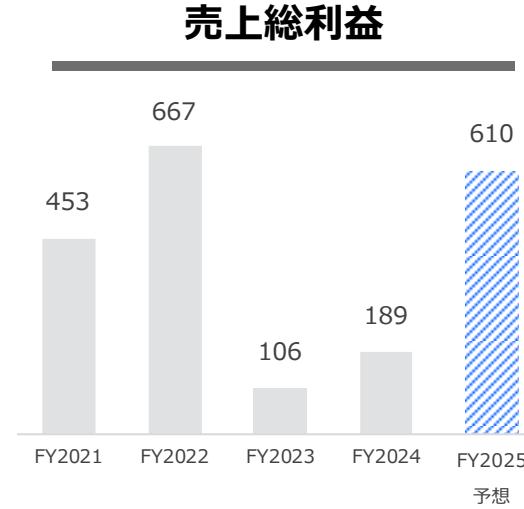
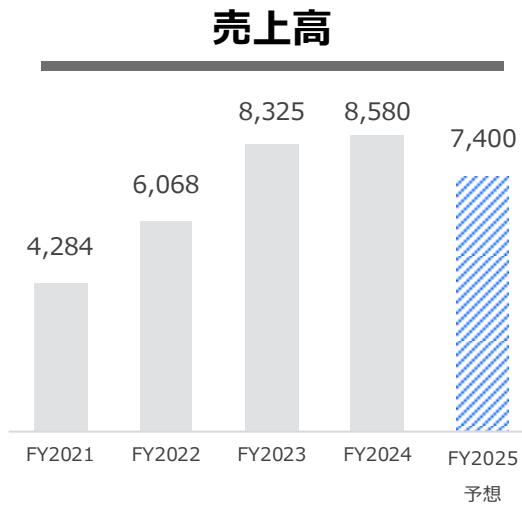
- 触媒分野は、海外への販路拡大、顧客との共同開発や既存技術・製品の多用途への展開等を推進。
- ファインケミカル分野は、半導体やエレクトロニクス市場が回復傾向にあり、設備増強など生産体制を強化し販路拡大中。
- 北九州および新潟県で取得した事業用地において、新規製造設備などの投資計画を検討中。高機能ケミカル向け触媒のほか、高速通信用材料や半導体製造プロセス向け研磨砥粒などのファインケミカル製品の生産拡大を目指す。

## ファインセラミックス分野

- 半導体市場は生成AI関連を中心に引き続き回復基調。データセンター向け薄膜回路基板の需要が増加。生産体制の見直し、リードタイムの短縮等の合理化を推進。
- 中国市場向けEV用高熱伝導窒化ケイ素基板の需要は堅調で、新規顧客の開拓に向けた営業活動に注力。
- 高熱伝導窒化ケイ素基板の需要拡大に向けて、2025年7月に新工場が完成。本格操業に向けて体制構築を推進中。

# 参考（業績推移）

【億円】



# 将来の見通しに関するご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。

従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいいたします。

本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

<本資料に関するお問い合わせ先>

日揮ホールディングス株式会社

戦略企画オフィス 経営企画ユニット

コーポレートコミュニケーショングループ

Tel : 045-682-8026 Fax : 045-682-1112

E-mail: [ir@jgc.com](mailto:ir@jgc.com)